

# アッパレ!! 小学4年生 『佐藤 大晃君』



東臼杵郡市畜産農業協同組合連合会主催の3月期子牛郡共進会が平成21年2月20日に開催されました。東臼杵郡の共進会では各部門の等級とは別に、もっとも牛の調教が出来ていた出品者1名に対して、調教賞を授与しています。その栄えある調教賞に並み居るベテランを押し分け、諸塚村の佐藤大晃君（10歳）が輝きました。

大晃君と愛牛『たふみ』号のコンビは、2月9日に開催された諸塚村の村品評会で見事優等賞となり、諸塚村の代表として郡共進会に参加しました。

郡共進会では雌子牛47頭の出

品があり、『たふみ』号は雌子牛の部の1等賞を受賞しました。調教賞の部門では、去勢子牛23頭を含む計70頭の出品があった中で、非常に堂々と牛を立てた大晃君は、最終候補4名に選ばれました。

大晃君と『たふみ』号は他の出品者、参観者、取材に来ていた記者の目を引き、審査の最中にもかかわらず、周りにたくさんの人が集まり、また記者からの取材攻勢となっていました。大晃君は取材の受け答え方も、牛の保定同様落ち着いて堂々と対応していました。

大晃君は共進会最後の調教賞を選定する審査の場においても、牛を何回も引き出したにもかかわらず、疲れた様子も無く、一生懸命に『たふみ』号を立てようと頑張っていました。その想いが伝わったのか『たふみ』号も最高の姿勢で立ちおり、その息の合った姿が審査委員の目を引き、最終候補4名の中から見事調教賞を受賞しました。

調教賞を受賞し、大晃君は「調教賞の受賞はともうれしいです。牛が少し暴れたけど楽しかった。これからも頑張って牛のお世話をしたい。」と力強く語ってくれました。

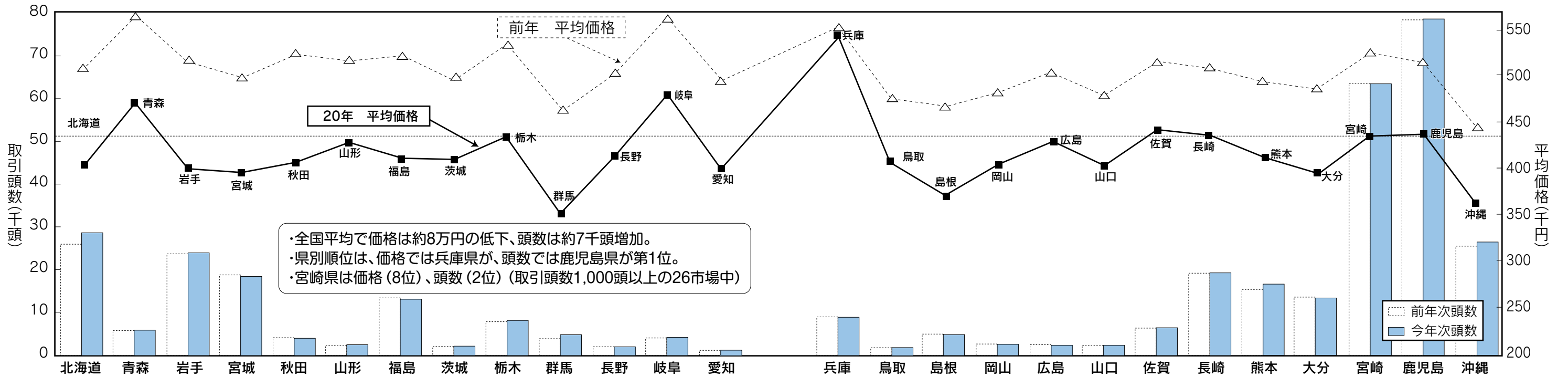
大晃君の勇姿に祖父の俊光さんは目に涙を浮かべ喜びを隠せない様子でした。父の喜代光さんも「良い経験になったと思う。」と話してくれました。

共進会の場に牛を引き出し、長時間にわたって牛を立てることは、大人であってもプレッシャーを感じる大変なことであると思います。大晃君と『たふみ』号の人牛一体となり息の合った姿の背景には、共進会に向けて努力をしてきたこと、日ごろから牛と一緒に生活している中で牛に対する想いがあったからではないかと思えます。

宮崎牛の期待の後継者として、大晃君の今後の更なる活躍を期待せずにはいられない共進会となりました。アッパレ大晃君!!

## 平成20年次都道府県別子牛取引頭数及び平均取引価格(黒毛和種)

取引頭数が1,000頭以上の都道府県



県名	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	長野	岐阜	愛知	兵庫	鳥取	島根	岡山	広島	山口	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	全国
平均価格	400	466	396	392	403	424	407	406	430	346	409	474	395	534	402	367	400	424	399	437	430	407	391	430	432	359	415
取引頭数	28,641	6,279	23,975	18,558	4,180	2,733	13,296	2,430	8,350	5,040	2,287	4,510	1,474	9,183	2,133	5,132	2,858	2,704	2,688	6,752	19,476	16,885	13,704	63,401	78,545	26,689	376,036
前年価格	500	555	508	490	516	508	513	490	524	457	495	553	487	542	469	461	475	497	472	509	501	487	479	519	506	437	501
前年頭数	25,968	5,959	23,755	18,837	4,231	2,609	13,524	2,267	7,958	4,224	2,328	4,275	1,374	9,225	2,062	5,179	2,902	2,824	2,644	6,673	19,380	15,658	13,863	63,493	78,258	25,761	368,640

注1) 平均価格については、消費税込みの価格である。注2) 頭数については、売却頭数を示す。注3) データについては、独立行政法人農畜産業振興機構の「全国の子牛取引情報(月報)」から引用した。(なお集計対象は日齢100日以上~400日以下、体重100kg以上~340kg以下)